

## 2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 1 月 27 日作成)

小委員会名	バイオクライマティックデザイン改訂本 作成小委員会	主 査 名：廣谷 純子 就任年月：2020 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (熱環境運営委員会)	委員長名：持田 灯
設 置 期 間	2020 年 4 月 ～ 2022 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>(設置目的)</p> <p>2011 年に出版した「設計のための建築環境学 みつける・つくるバイオクライマティックデザイン (彰国社)」に、省エネルギー基準の改訂内容、環境建築の最新事例などを加えた改訂版を作成する。</p> <p><b>初年度：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バイオクライマティックデザイン改訂本の構成内容の検討</li> <li>・ 改訂本の編集会議 (出版社編集者を交えて)</li> <li>・ 改訂本の出版</li> </ul> <p><b>2年度：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ミニシンポジウムの企画と開催 (改訂本の紹介)</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：廣谷純子 (みつつデザイン研究所)</p> <p>幹事：金子尚志 (滋賀県立大)、高田真人 (熊本大)</p> <p>委員：宇野朋子 (武庫川女子大)、源城かほり (長崎大)、齊藤雅也 (札幌市立大)、須永修通 (首都大東京)、築山祐子 (旭化成ホームズ (株))、中谷岳史 (信州大)、長谷川兼一 (秋田県立大)、佐藤理人 (ミサワホーム総研)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2020 年度予算	90000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1. 「設計のための建築環境学 みつける・つくるバイオクライマティックデザイン 改訂版 (彰国社)」 (2021 年 3 月刊行予定)
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー 等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	

<b>夫会研究集会</b>	<del>1. (名称)</del> 名 <del>(資料名)</del>	参加者数
<b>対外的意見表明・パブリックコメント等</b>		
<b>目標の達成度</b> (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 当初の目標通り、2020 年度中に改訂本の刊行を達成した。 (2021 年 3 月刊行予定)	
<b>委員会活動の問題点</b> ・課題		

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

\* 表中の赤字「(設置目的) (書名) (名称) (資料名)」は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。

## 2020 年度 小委員会活動 自己評価

### (中間年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">A</span> <span style="padding: 2px 5px;">B</span> <span style="padding: 2px 5px;">C</span> <span style="padding: 2px 5px;">D</span>
<p style="text-align: center;">総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>企画から執筆までの期間が 1 年と短い中、予定とおりに 2020 年度中に刊行できるところまでたどり着けたことは評価に値する。</p>

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。